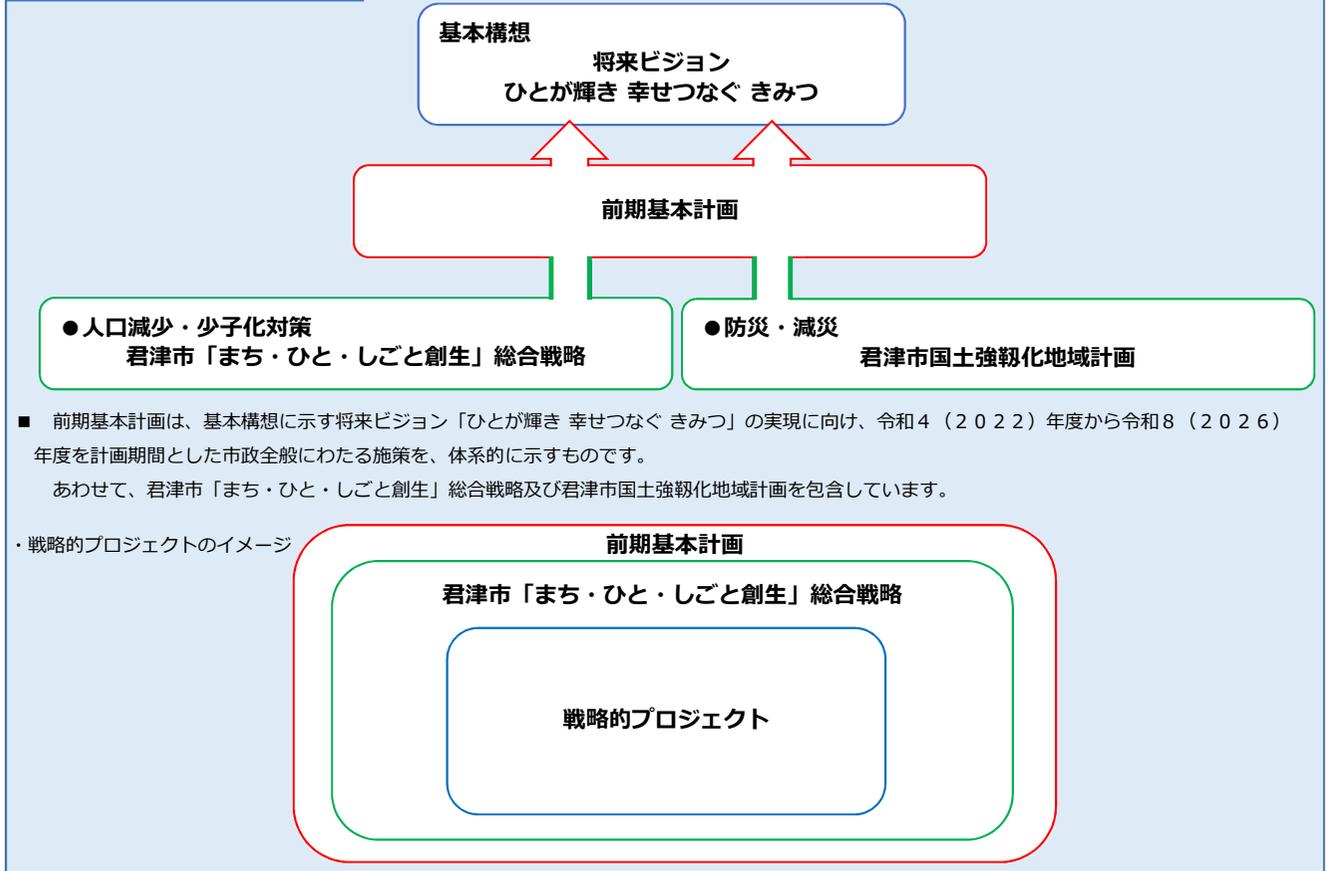


全体像

計画の体系



計画の位置づけ



- 前期基本計画は、基本構想に示す将来ビジョン「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現に向け、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度を計画期間とした市政全般にわたる施策を、体系的に示すものです。
あわせて、君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略及び君津市国土強靱化地域計画を包含しています。

・戦略的プロジェクトのイメージ

計画の期間

- 前期基本計画の計画期間は基本構想の期間【令和4（2022）年度～令和12（2030）年度】のうち、令和4（2022）年度～令和8（2026）年度の5年間とします。

年度		令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	
総合計画	基本構想	→									
	基本計画	→					→				
	実施計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	

前期基本計画

前期基本計画の構成

■ 第1 将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策

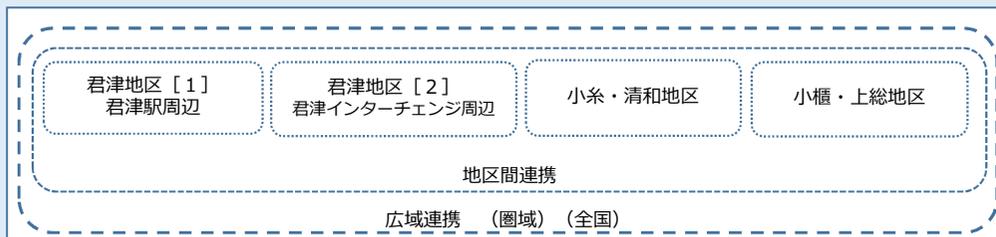
柱1	柱2	柱3	柱4	柱5
経済と環境が調和したまち 【経済、環境】	誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち 【健康、福祉】	安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち 【子育て、教育、文化】	快適で安心して暮らせるまち 【安全安心、都市基盤】	ともに創る次世代につながるまち 【パートナーシップ、人権、行財政】

1 商工業振興	1 地域福祉	1 子育て	1 防災・減災	1 パートナーシップ
2 農林業振興	2 高齢者福祉	2 学校教育	2 道路	2 地域コミュニティ
3 環境共生	3 障害者福祉	3 生涯学習	3 上下水道	3 人権・男女共同参画
4 観光振興	4 保健・医療	4 文化・芸術振興	4 消防・救急	4 公共施設マネジメント
	5 スポーツ推進	5 多文化共生	5 防犯・消費生活・交通安全	5 シティプロモーション
			6 移動	6 行財政マネジメント
			7 都市創造・住まい	

■ 第2 戦略的プロジェクト

- A 安心して働ける環境をつくる
- B 子育て世代が住みやすいまちをつくる
- C 環境グリーン都市をつくる
- D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる

■ 第3 拠点づくり



■ 第4 財政見直し

財政見直しの位置づけ・本市の財政見直し

☆ SDGs（持続可能な開発目標）との関わり

SDGsは、経済・社会・環境の3つのバランスが取れた社会を目指すための国際目標であり、平成27年9月に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられているものです。

このSDGsは、すべての国々、人々を対象としており、2030年までに持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成されています。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、達成に向けてすべての人々がSDGsを理解し、それぞれの立場で主体的に行動することが求められています。

SDGsの17のゴール全てに対応する前期基本計画では、前期基本計画に基づく施策を推進することで、SDGsの目標達成に貢献していきます。



・将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策

概要、対応するSDGsのゴール、指標、現状と課題、市民、地域、事業者等が取り組んでいくこと、施策の展開、関連する個別計画を示しています。

・戦略的プロジェクト

将来ビジョンの実現を加速させるために、テーマごとに関連する「将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策」をパッケージ化し戦略的に取り組むものとして、目的、取組の内容、関連施策、プロジェクトストーリーなどを示しています。

・拠点づくり

基本構想の将来デザインに対応し、拠点づくりの視点から地区ごとに施策の展開を示し、さらに、地区間連携、広域連携を示しています。

・財政見直し

社会経済情勢や地方財政制度の動向を踏まえ、総合計画に基づき今後展開される施策などを盛り込んだ歳入歳出の試算を行うものです。

君津市総合計画 前期基本計画（素案）概要

前期基本計画 第1 将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策

柱1 経済と環境が調和したまち 【経済、環境】

1 商業振興



- ・持続的な経済成長の実現
- ・メイドインきみつの全国展開
- ・地域を支える事業者の経営力強化
- ・働きやすい環境づくり
- ・企業誘致の推進

2 農林業振興



- ・多様な担い手が活躍できる環境の整備
- ・安定した農業経営の確立
- ・農業体験、食育等による都市農村交流の促進
- ・森林整備の促進

3 環境共生



- ・脱炭素社会の推進
- ・生活環境と自然環境の保全
- ・ごみの減量化・再資源化の推進
- ・有害鳥獣を引き寄せない環境づくり
- ・家庭用省エネ・再エネ設備等の導入促進

4 観光振興



- ・観光資源の磨き上げ
- ・観光情報発信の強化

柱2 誰もがいきいきと生活できる 地域共生のまち 【健康、福祉】

1 地域福祉



- ・地域で共に支え合える環境づくり
- ・生活に困っている方への支援の推進
- ・誰もが安心して暮らせる住環境の整備

2 高齢者福祉



- ・高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり
- ・介護が必要な方を支える介護基盤の整備促進

3 障害者福祉



- ・障害福祉サービス提供体制の充実
- ・障害のある方の就労支援の充実
- ・障害のある方の相談支援体制の強化
- ・障害のある方が自分らしく暮らせる環境づくり

4 保健・医療



- ・健康診査や疾病予防の推進
- ・運動習慣の定着とフレイル予防の推進
- ・健康づくりの推進
- ・感染症対策の推進
- ・地域医療体制の充実

5 スポーツ推進



- ・スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ・スポーツ観戦等を通じた個性を生かせる機会の創出
- ・スポーツ環境の整備
- ・スポーツを通じた交流による地域づくり

柱3 安心して子育て・子育てでき 学びを楽しめるまち 【子育て、教育、文化】

1 子育て



- ・妊娠・出産・子育て期にわたる支援体制の充実
- ・保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
- ・子育て家庭への支援体制の充実
- ・結婚を希望する方への支援の推進

2 学校教育



- ・子育てできる環境づくり
- ・生きる力を育む学校教育の推進
- ・新しい時代に必要で資質・能力の育成
- ・脱炭素につながる環境教育の推進
- ・より良い学校環境の整備

3 生涯学習



- ・身近な場所で学び続けられる環境の整備
- ・子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実
- ・自主的に学び続けられる読書環境の整備

4 文化・芸術振興



- ・多彩な文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくり
- ・文化・芸術に係る環境の整備
- ・地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくり

5 多文化共生



- ・国際交流の推進
- ・あらゆる国々の人にとって住みやすいまちづくり

柱4 快適で安心して暮らせるまち 【安全安心、都市基盤】

1 防災・減災



- ・地域が一体となった防災対策の推進
- ・災害に備えた環境の整備
- ・水害を防ぐ河川環境の整備
- ・平常時から始める減災対策
- ・災害からの迅速な復旧復興

2 道路



- ・安全で快適な道路環境の実現
- ・道路インフラの計画的なメンテナンスの実施
- ・幹線道路の整備促進

3 上下水道



- ・水道水の安定的な供給
- ・公共下水道の整備・普及

4 消防・救急



- ・市民の安全安心につなげる消防・救急体制の充実
- ・消防の強靱化
- ・火災予防の推進

5 防犯・消費生活・交通安全



- ・犯罪を未然に防ぐ体制の整備
- ・安全安心の消費生活の実現
- ・交通安全対策の推進

6 移動



- ・鉄道及び民間路線バスの利用促進
- ・コミュニティバス及びデマンドタクシーの最適化
- ・高齢者等への移動支援
- ・バリアフリー化の推進
- ・自動運転技術の活用に向けた研究

7 都市創造・住まい



- ・市街地の都市機能の充実
- ・良質な住宅の普及促進
- ・空き家対策の推進
- ・公園のリニューアルを始めとした都市空間の新たな魅力づくり

柱5 ともに創る次世代に つながるまち 【パートナーシップ、人権、行財政】

1 パートナーシップ



- ・市民と共につくるまちづくり
- ・企業等との連携によるまちづくり
- ・広域連携によるまちづくり

2 地域コミュニティ



- ・地域コミュニティの活性化
- ・新たな地域拠点づくり

3 人権・男女共同参画



- ・多様な人権を尊重するまちづくり
- ・ジェンダー平等の推進
- ・女性が活躍する社会の実現に向けた環境づくり

4 公共施設マネジメント



- ・公共施設再整備の推進
- ・空き公共施設等の利活用の推進

5 シティプロモーション



- ・市民に向けた情報発信による君津市への愛着や誇りの醸成
- ・市外に向けた情報発信による関係人口の創出・拡大
- ・地方移住・二地域居住の推進

6 行財政マネジメント



- ・次世代につながる効果的な行財政運営
- ・人材育成の推進と組織の活性化
- ・開かれた市政の推進
- ・デジタル化による住民サービスの向上及び行政経営の効率化

戦略的プロジェクトの全体像

■ 概要

✓ 戦略的プロジェクトは基本構想の将来ビジョンの実現を加速させるために、テーマごとに関連する「将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策」をパッケージ化し、戦略的に取り組んでいきます。さらに、総合計画に包含する君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の中でも特に戦略的・重点的に取り組むものとして戦略的プロジェクトを位置付けます。

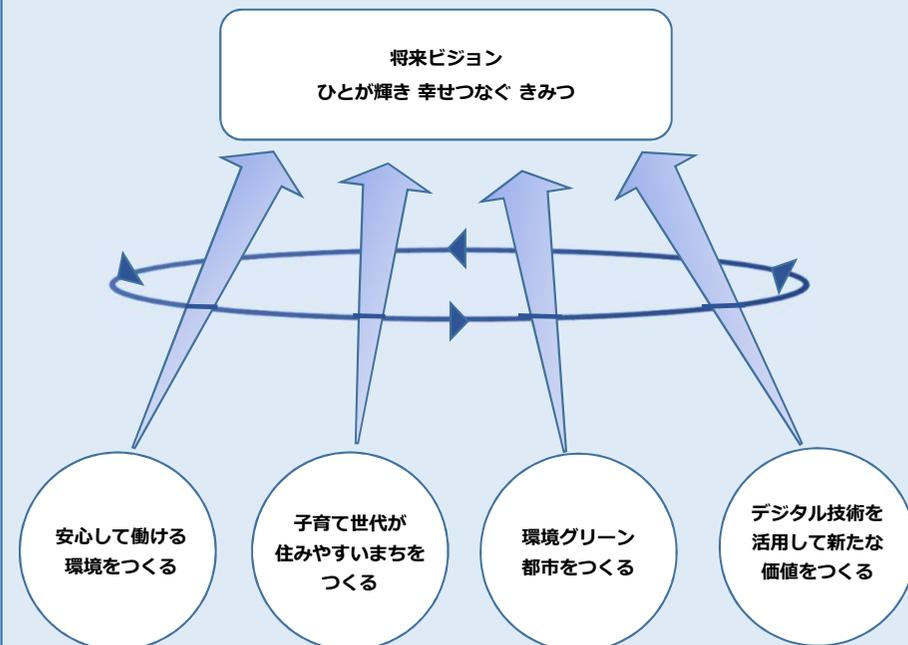
✓ 以下の戦略的な視点に基づき「A 安心して働ける環境をつくる」、「B 子育て世代が住みやすいまちをつくる」、「C 環境グリーン都市をつくる」、「D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる」の4つのテーマとその取組内容を定めています。

■ 戦略的な視点

- 視点① 本市から転出傾向にある、若い世代と女性をターゲットとする
- 視点② 基本構想 将来ビジョンの実現に向けて効果が高いもの
- 視点③ 基本構想 将来デザインのコンセプト（多極ネットワーク、コンパクト、スマート）に合致するもの
- 視点④ 「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」等の国が推進する分野に合致し、国の政策的・財政的支援により取組の加速が期待されるもの

■ 戦略的プロジェクトイメージ

✓ 4つのテーマの相乗効果により、将来ビジョンの実現を加速させます。



戦略的プロジェクト 一覧

A 安心して働ける環境をつくる



■ 取組の内容

- ・ 企業誘致・創業支援の推進
- ・ グリーン・デジタル化に関する支援
- ・ 多様な人材の活躍支援

- ##### ■ 主な施策
- 柱1-1-① 持続的な経済成長の実現
 - 柱2-3-② 障害のある方の就労支援の充実
 - 柱5-3-③ 女性が活躍する社会の実現に向けた環境づくり など

B 子育て世代が住みやすいまちをつくる



■ 取組の内容

- ・ 子育て世代が住みやすい住環境整備
- ・ 保育の受け皿整備などの子育て支援の促進
- ・ 妊娠・出産・子育てなどにおける支援体制と教育施策の充実

- ##### ■ 主な施策
- 柱3-1-① 妊娠・出産・子育て期にわたる支援体制の充実
 - 柱3-1-② 保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
 - 柱4-7-① 市街地の都市機能の充実 など

C 環境グリーン都市をつくる



■ 取組の内容

- ・ 水と緑の保全、森林の整備
- ・ 環境に配慮した企業の立地、企業の脱炭素に向けた設備等の更新・導入等
- ・ 公共施設の新築・改修時の省エネルギー性能向上、再生可能エネルギーを活用したエネルギー効率の高い建築物の普及
- ・ 省エネルギー家電の利用、エコドライブ、ごみの4R
- ・ 電動車等への転換、ICTを活用した公共交通機関の最適化

- ##### ■ 主な施策
- 柱1-3-① 脱炭素社会の推進
 - 柱3-2-④ 脱炭素につながる環境教育の推進 など

D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる



■ 取組の内容

- ・ ゆとりと安心のある暮らしに向けた変革（暮らしの変革）
- ・ 人材育成の推進や教育面における変革（知の変革）
- ・ 地域の活性化に向けた産業の変革（産業の変革）
- ・ 「誰一人取り残さない」デジタル化の取組（デジタルデバйд対策）

- ##### ■ 主な施策
- 柱1-1-③ 地域を支える事業者の経営力強化
 - 柱3-2-③ 新しい時代に必要な資質・能力の育成
 - 柱5-6-④ デジタル化による住民サービスの向上及び行政経営の効率化 など

君津市総合計画 前期基本計画（素案）概要

前期基本計画 第3 拠点づくり

拠点は地区の行政サービス、学習、活動等の根幹となるものです。全国的に少子高齢化や人口減少が進むなか、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせる環境を整えるためには、限られた資源を効果的に活用する必要があります。このため、産業や生活サービス機能等が集約した場所を形成することで、地区の活力を牽引する拠点づくりを行います。

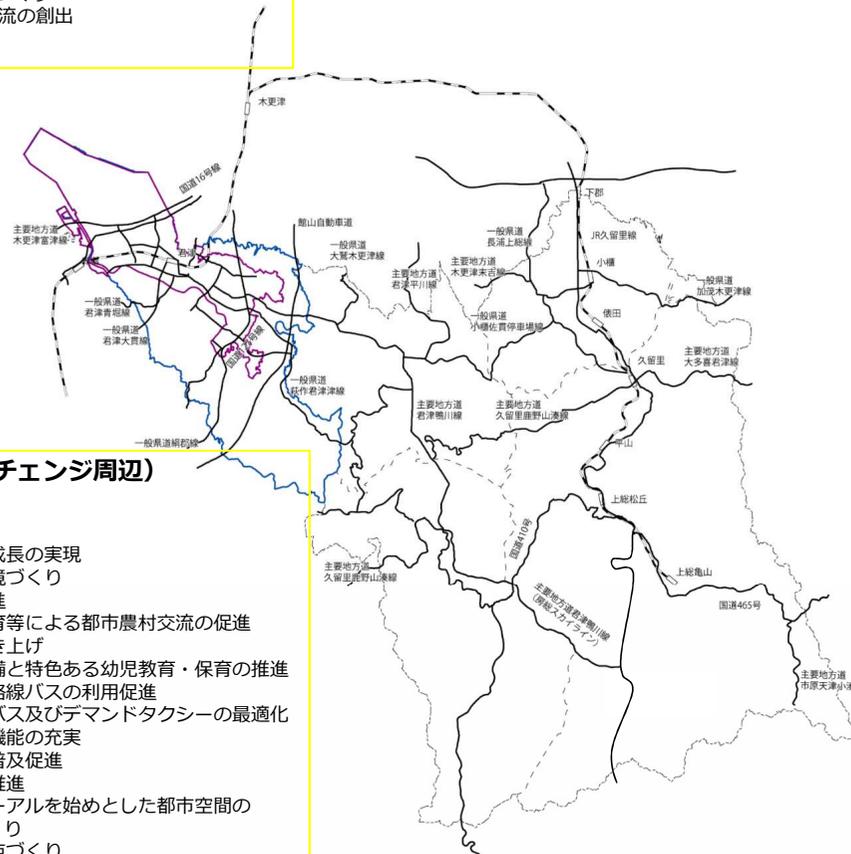
本市は、君津駅周辺が中心市街地として栄え、その周辺は計画的に市街地が整備され、住み良いまちが形成されています。このまちの持続的な活性化のため、市街地のリノベーションを進めるとともに、新たな核づくりとして、君津インターチェンジ周辺の産業の受け皿づくりに取り組みます。そして、市内の各地区において拠点づくりを進め、拠点をベースとした積極的な活動と相互に補完し合える地区間連携を促進するとともに、市域を超えた広域連携に取り組んでまいります。

君津地区の方向（君津駅周辺・君津インターチェンジ周辺）

※基本構想 将来デザインから再掲

- 臨海部の既存工業地における更なる生産性向上の支援
- 君津駅周辺の商業・医療・福祉等の集積による都市機能の充実
- 若い世代も住みたくなる住環境の整備
- 低未利用地の利活用による定住の受け皿の確保
- 内みのわ運動公園の新たな魅力づくり
- 君津インターチェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり
- 君津PAスマートインターチェンジ周辺の新たな交流の創出
- 郡ダム周辺の水上スキーを通じた交流の促進

※ 右記のマップは、全体のバランスを踏まえ修正予定です。



君津地区（君津駅周辺・君津インターチェンジ周辺）の主な施策の展開

- 商工業振興 ⇒ 柱1-1-① 持続的な経済成長の実現
⇒ 柱1-1-④ 働きやすい環境づくり
⇒ 柱1-1-⑤ 企業誘致の推進
- 農林業振興 ⇒ 柱1-2-③ 農業体験、食育等による都市農村交流の促進
- 観光振興 ⇒ 柱1-4-① 観光資源の磨き上げ
- 子育て ⇒ 柱3-1-② 保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
- 移動 ⇒ 柱4-6-① 鉄道及び民間路線バスの利用促進
⇒ 柱4-6-② コミュニティバス及びデマンドタクシーの最適化
- 都市創造・住まい ⇒ 柱4-7-① 市街地の都市機能の充実
⇒ 柱4-7-② 良質な住宅の普及促進
⇒ 柱4-7-③ 空き家対策の推進
⇒ 柱4-7-④ 公園のリニューアルを始めとした都市空間の新たな魅力づくり
- 地域コミュニティ ⇒ 柱5-2-② 新たな地域拠点づくり

地区間連携

本市は、君津、小糸、清和、小櫃及び上総の個性豊かな5地区に行政センター等の公共施設があります。これらの公共施設の多くは、老朽化が進んでおり、公共施設の全てを更新し続けることは困難であるため、財政負担を軽減、平準化しながら計画的に公共施設の再配置に取り組む必要があります。

このため、それぞれの公共施設を単体で捉えるのではなく、住民の行動や将来人口等を考慮した計画的な施設の更新を行うとともに、道路でむすぶリアル空間に加え、情報・科学技術を活用したデジタル空間において、新たなむすびの構築をすることで、リアルとデジタルの融合による地区間連携により、市域全体の利便性や魅力の向上へとつなげていきます。

小糸・清和地区の方向

※基本構想 将来デザインから再掲

- 小糸小学校周辺の拠点機能の充実
- 旧秋元小学校を活用した暮らしを支える新たな地域拠点の形成
- かずさアカデミアパークを生かした企業間連携の推進
- 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進
- 鹿野山及び清和県民の森周辺の観光地としての魅力向上

小櫃・上総地区の方向

※基本構想 将来デザインから再掲

- 木更津東インターチェンジ周辺の賑わいの創出
- 小櫃駅周辺の拠点機能の充実
- JR久留里線と国道410号バイパスの整備を生かした拠点機能の充実
- 久留里の歴史・文化・自然・名水のブランディングとグリーンツーリズムの推進
- 官民のパートナーシップによる新たな森づくり
- 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進（再掲）
- 龜山湖及び笹川湖周辺の観光地としての魅力向上

小糸・清和地区及び小櫃・上総地区の主な施策の展開

- 商工業振興 ⇒ 柱1-1-② メイドインきみつの全国展開
⇒ 柱1-1-⑤ 企業誘致の推進
- 農林業振興 ⇒ 柱1-2-① 多様な担い手が活躍できる環境の整備
⇒ 柱1-2-② 安定した農業経営の確立
⇒ 柱1-2-③ 農業体験、食育等による都市農村交流の促進
⇒ 柱1-2-④ 森林整備の促進
- 観光振興 ⇒ 柱1-4-① 観光資源の磨き上げ
⇒ 柱1-4-② 観光情報発信の強化
- 移動 ⇒ 柱4-6-① 鉄道及び民間路線バスの利用促進
⇒ 柱4-6-② コミュニティバス及びデマンドタクシーの最適化
- 都市創造・住まい ⇒ 柱4-7-② 良質な住宅の普及促進
⇒ 柱4-7-③ 空き家対策の推進
- 地域コミュニティ ⇒ 柱5-2-② 新たな地域拠点づくり
- 公共施設マネジメント ⇒ 柱5-4-① 公共施設再整備の推進

広域連携

全国的な少子高齢化や人口減少等の影響により、様々な分野で行政課題が発生し、その果たすべき役割は大きくなる一方で、今後の行財政運営はより厳しい状況になると見込まれます。これらの課題に対応していくには、市単独での行財政改革等の取組に加え、地域全体で協力して行政課題に対応する広域連携を進めていく必要があります。

今後は、周辺自治体とのむすびつきをより一層強化し、直面する行政課題に対して広域的に連携しながら取り組むことで、行政サービスの効率化を図るとともに、東京都心から50km圏内という地理的な優位性を最大限に生かし、君津圏域全体の経済や文化等の更なる発展を推進します。